

林將軍と三人の女

一日も欠さぬ 將士の送迎に 感激の書を贈る

林將軍の遺骸が、昨日午後一時、東京府立第一高等女學校に到着した。林將軍の遺骸は、昨日午後一時、東京府立第一高等女學校に到着した。林將軍の遺骸は、昨日午後一時、東京府立第一高等女學校に到着した。

天然痘の死體を 無謀にも漢江へ投入

遺棄者は目下天然痘で危篤 恐るべきその害毒

天然痘の死體を、昨日午後一時、漢江に投入した。遺棄者は、目下天然痘で危篤に陥っている。恐るべきその害毒は、周囲に蔓延する恐れがある。

沿岸一帯に防疫

流域には嚴重に種痘 野菜の水洗を禁止し

沿岸一帯に防疫が実施されている。流域には嚴重に種痘が行われ、野菜の水洗は禁止されている。

暴露す

系統から 賞状受領で

暴露す。系統から賞状を受領した。

去月中旬頃

麻浦附近の河中へ 可愛がりを水葬

去月中旬頃、麻浦附近の河中へ可愛がりを水葬した。

泡瘡神も

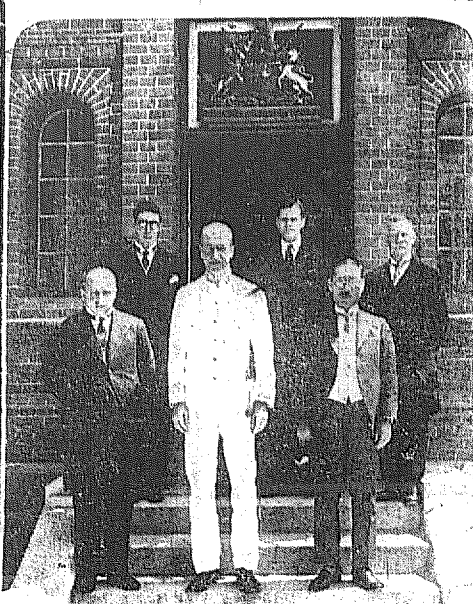
水中では無抵抗 野菜だけ氣をつけよ

泡瘡神も水中では無抵抗。野菜だけは氣をつけよ。

恒家事件

兩被告無罪 府検察官は「誤り」

恒家事件。兩被告は無罪と判決された。府検察官は「誤り」と主張している。



傳染病

けふは十四名

傳染病。けふは十四名が感染した。

五十男の死體

海邊附近に 発見された

五十男の死體。海邊附近に発見された。



舞踊界の第一人者

漠一行の夕・公開 賑やかに花形連乗込む

舞踊界の第一人者。漠一行の夕・公開。賑やかに花形連乗込む。

保險の悪外交員

掛金を集めて逃走 判明だけでも一千圓を超す

保險の悪外交員。掛金を集めて逃走。判明だけでも一千圓を超す。

囚はれた安昌浩

七日仁川に護送 民族運動文治派の巨頭

囚はれた安昌浩。七日仁川に護送。民族運動文治派の巨頭。

契約者には 迷惑をかけぬ

會社の幹部語る 迷惑をかけるのは、契約者には迷惑をかけぬ。

契約者には迷惑をかけぬ。會社の幹部語る。迷惑をかけるのは、契約者には迷惑をかけぬ。

時局標榜の脅迫文

容疑者検挙さる 裏面に數萬の詐欺事件伏在

時局標榜の脅迫文。容疑者検挙さる。裏面に數萬の詐欺事件伏在。

英帝誕辰祝賀會

十時半より 皇太子殿下の御臨幸

英帝誕辰祝賀會。十時半より皇太子殿下の御臨幸。



白水の女將死ぬ

野球観戦中腸捻転で死す 半島球界の名物女

白水の女將死ぬ。野球観戦中腸捻転で死す。半島球界の名物女。

未養鶏道へ

養鶏増収大講習會開催 満蒙を控へ益々有利好望の朝鮮養鶏を經濟的發展と技術の一大革新を目的として内地より大權威來鮮、空前の盛會を期する

未養鶏道へ。養鶏増収大講習會開催。満蒙を控へ益々有利好望の朝鮮養鶏を經濟的發展と技術の一大革新を目的として内地より大權威來鮮、空前の盛會を期する。

講習會

講習會。講習會。講習會。

講習會

講習會。講習會。講習會。

講習會

講習會。講習會。講習會。

ムゴンイア

ムゴンイア。ムゴンイア。ムゴンイア。

カフエー界大革命

カフエー界大革命。カフエー界大革命。カフエー界大革命。

謝恩大賣出し

謝恩大賣出し。謝恩大賣出し。謝恩大賣出し。

社員採用

社員採用。社員採用。社員採用。

タンス

タンス。タンス。タンス。

朝鮮地圖

朝鮮地圖。朝鮮地圖。朝鮮地圖。

六〇六

六〇六。六〇六。六〇六。

織田内科

織田内科。織田内科。織田内科。

チエ

チエ。チエ。チエ。

チエ

チエ。チエ。チエ。

一デ防豫齒シムは日今

品質・効力・第一
齒磨界のナンバールワン

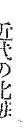
クラブ 煉來 磨

われ等の元氣は日本の元氣だ

まづ齒を磨から
朝に……晩に……




大 20 セン・中 10 セン



粉


經口免疫時代來る

御用所は大阪川口村、陸奥六ヶ所



六月廿日（本紙上）。
發表後三日以内に左記賞品を發送致します。

一等	十八金銀貨、銀貨、銅貨、時計	銀貨
二等	ナシヨナル自働アイロン	銀貨
三等	浴巾、大鏡、ベルメタル瓶、用	銀貨
四等	クマミラル、鏡人、ベルメタルボウ、用	銀貨
五等	ニードル、洗剤、箱入	銀貨


 琉球をめぐりて
 猪印殺虫王國の
 一二大製品の眞價
 東京興隆社 千キメ尺の一番
 猪印 安住

よゝゝ 人あはれ
可憐香
り粉

[illegible]

社説

郵政防衛

意欲あらしめよ
今日、郵政防衛の必要は、この
國の存亡に關するものである。...

退職金 交附公債總額は 二百十萬圓

額面と時價との差額は
現金を以て支給する等

就職難救済に

西部職業紹介所と人事
十、十一兩日釜山で

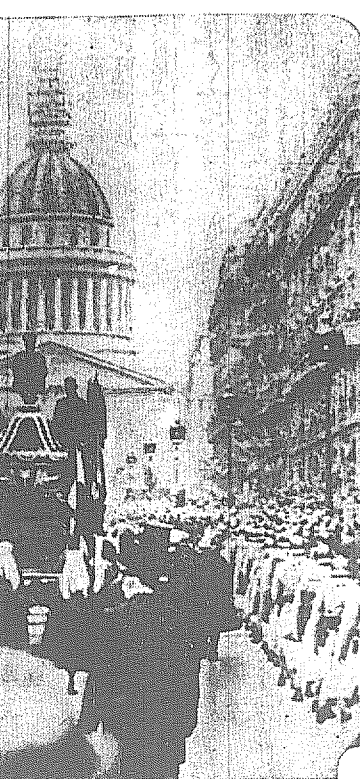
一般社に

格をつける
今年中には確立される
社格その他の制度

労働者の貯蓄
勤勞者の貯蓄
勤勞者の貯蓄

火保餘燼

商議と大合
近頃態度決定



故メーゾ大佛統領の霊柩

軍縮と海軍問題

今次の一般會議

海軍と倫敦條約

海軍と倫敦條約
倫敦海軍條約の締結は、...

自動式電話
新廳舎の建築は愚か
物品の購入も始り出さぬ

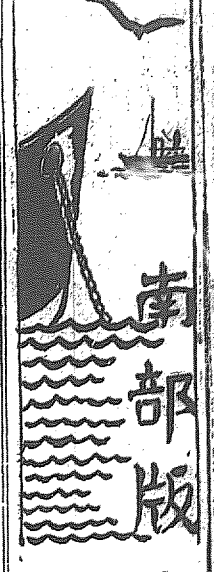
結婚と入籍
戸籍と養子
法律相談

貯蓄新案意匠
大株短期引換
勤勞組合の講習會

妙布
スチマウリ・痛經神・身打・りこの肩
にみ痛の肉筋
るよにツース
スチマウリ・痛經神・身打・りこの肩
にみ痛の肉筋
るよにツース

學校の成績
香水原液
着色料
東華洋行

藥
美味滋養の強壯飲料
三ツワ規那鐵葡萄酒
MITSUKAWA



南部版
タイセルエーシング界ノ王者
タイハツ重油機関
京府南大門通五一九
發動機製造株式會社京府出張所
電話本局三〇〇七番

滿洲國の正式承認

基本的對策を確立して

先づ經濟的融合をはかれ

「滿洲國」の正式承認は、日本に對する「東亞新秩序」の實現の第一歩である。日本は、この承認を以て、滿洲國の獨立主權を尊重し、其の經濟的融合を促進する。...

新輸城河を境界に

清津市街區域擴張

富寧鏡城兩郡の一部編入

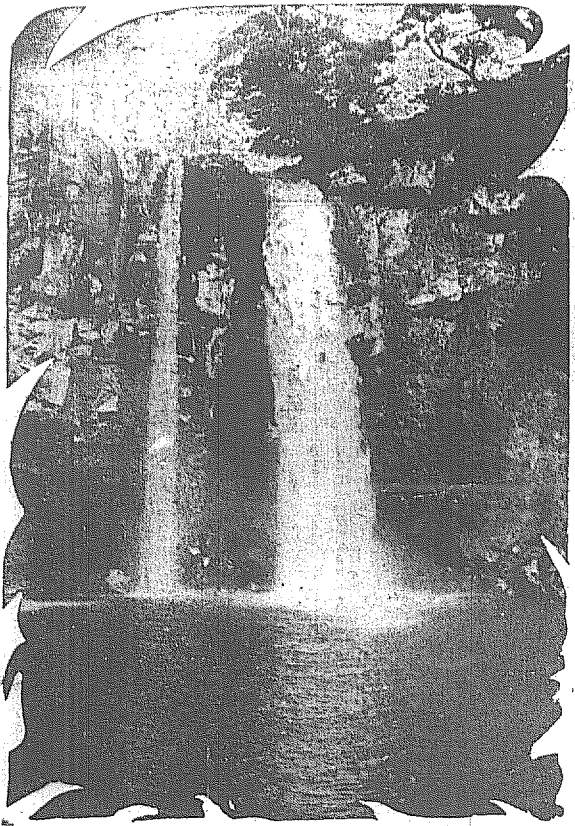
「新輸城河」を境界として、清津市街區域を擴張する。富寧鏡城兩郡の一部を編入する。...

都市計畫の

基礎案發表運る

資本の投下を誘ふ

「都市計畫」の基礎案を發表する。資本の投下を誘ふ。...



天安行の會

臨時總會



天安行の會臨時總會

築港と架橋

促進運動を急ぐ

近々總會をひらく

「築港と架橋」の促進運動を急ぐ。近々總會をひらく。...

男女兩性の怪物

調法に股に金時計

「男女兩性の怪物」の調法に股に金時計。...

掛値の税金

邑會で暴露す

議場大混亂の醜態

「掛値の税金」の邑會で暴露する。議場大混亂の醜態。...

湖南に誇る天地瀧

徐福が求めた不老長壽の靈泉

「湖南に誇る天地瀧」の徐福が求めた不老長壽の靈泉。...

瀧と湖水めぐり

「瀧と湖水めぐり」の紹介。...

談漫脚行洲滿

婉分生私と兒檢

殿魔伏の第次手勝

「談漫脚行洲滿」の紹介。...

樂になつた

大邱のお臺所

却つて黒に變る

「樂になつた」の大邱のお臺所。...

劇喜幕一

老人と若者

若者はカナツンボ

「劇喜幕一」の老人と若者。...

木浦に

市場新設

府會で決定

「木浦に市場新設」の府會で決定。...

沙里院驛お化粧

上層と下層の橋を架け

「沙里院驛お化粧」の上層と下層の橋を架け。...

三人強盜

光州署で検挙

「三人強盜」の光州署で検挙。...

群山競馬延期

上層と下層の橋を架け

「群山競馬延期」の上層と下層の橋を架け。...

救済事業で

窮民は逆に負債

卅錢の食費に對し

「救済事業で窮民は逆に負債」の卅錢の食費に對し。...

釜山商議逐鹿戰

新顔續出て白熱化

「釜山商議逐鹿戰」の新顔續出て白熱化。...

輸入防止に

緬羊飼育

三萬頭を目標に

「輸入防止に緬羊飼育」の三萬頭を目標に。...

大田郡の勤

農デ

二反歩補付

「大田郡の勤農デ」の二反歩補付。...

慶北の春

共同販賣人日割

「慶北の春共同販賣人日割」の紹介。...

大田野球戰

機關大捷

對學校優勝

「大田野球戰」の機關大捷。...

咸南都市對

抗陸技大會

「咸南都市對抗陸技大會」の紹介。...

永登浦消防

組頭後任候補

「永登浦消防組頭後任候補」の紹介。...

品評會

今秋九月

「品評會」の今秋九月。...

結核防疫問題の特稿

結核

結核治療界の王座を占むる
エンチームテラピの解説

恐るゝに足らず

長壽藥

「遠慮の不老」

「遠慮の不老」
長壽藥
「遠慮の不老」
長壽藥
「遠慮の不老」
長壽藥

生命の源泉

酵素の働き

生命の源泉
酵素の働き
生命の源泉
酵素の働き

なへフエ菌が 食慾を急進し、衰弱した胃腸 機能を根本から賦活する

「なへフエ菌」
食慾を急進し、衰弱した胃腸
機能を根本から賦活する

「なへフエ菌」
食慾を急進し、衰弱した胃腸
機能を根本から賦活する

「なへフエ菌」
食慾を急進し、衰弱した胃腸
機能を根本から賦活する

「実験報告」 酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる


「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる


「実験報告」
酵素療法によれる

「実験報告」
酵素療法によれる


「実験報告」
酵素療法によれる



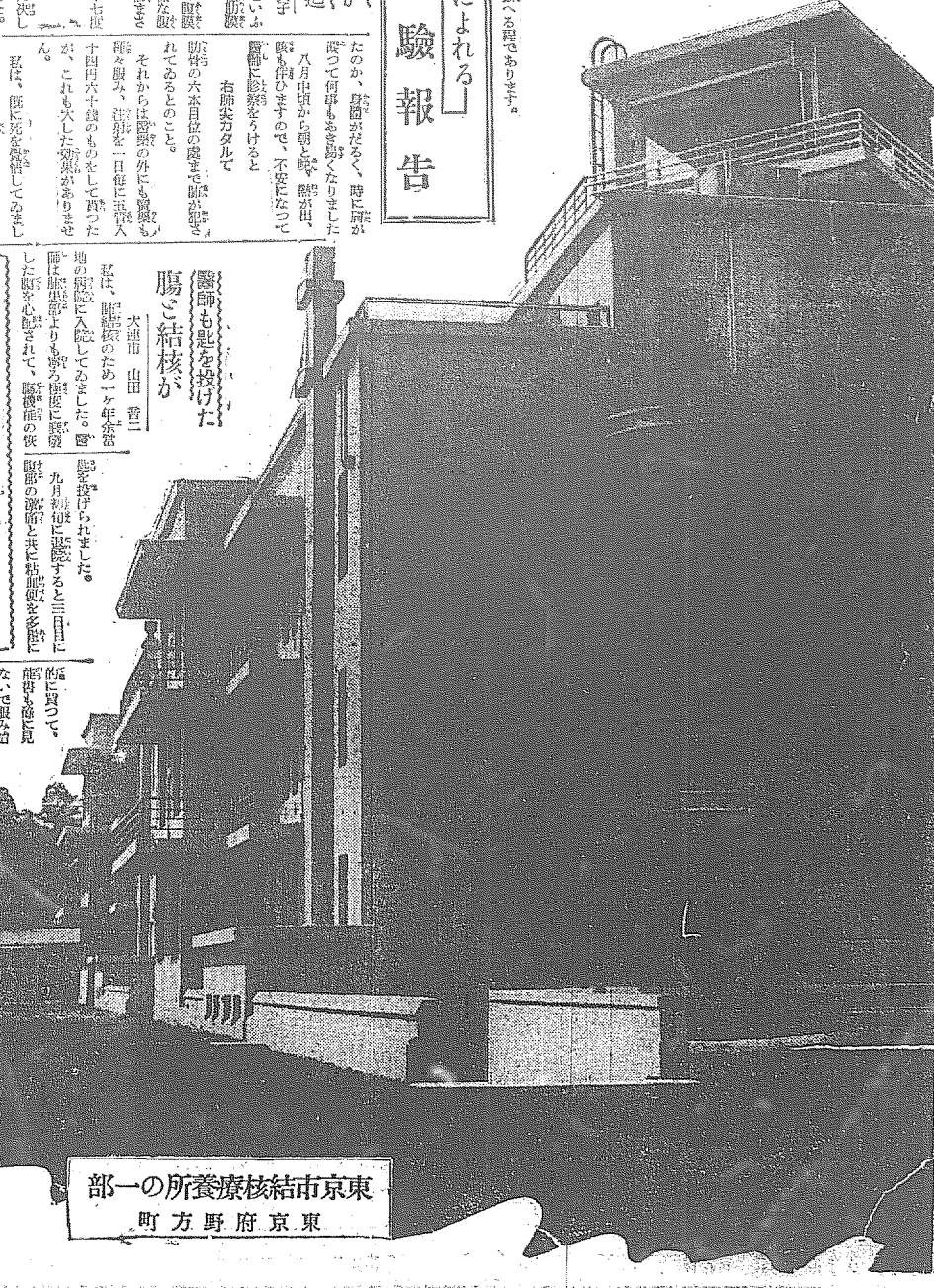
ゼンミタイウ
クニシミ
「ゼンミタイウ」
クニシミ



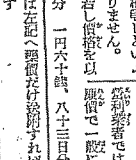
「ゼンミタイウ」
クニシミ



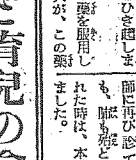
「ゼンミタイウ」
クニシミ



部一の所療療核結市京東
町方野府京東



「ゼンミタイウ」
クニシミ



「ゼンミタイウ」
クニシミ

學子



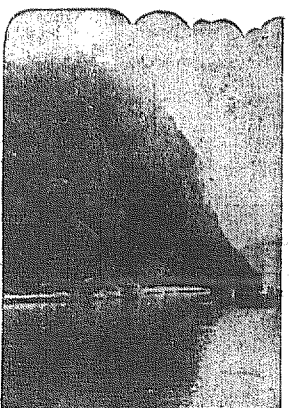
「ワシントン發着
郡君」北米、佛國の
大爲權として重きを
爲す様にして大統
御の人格、職能とは
世界周知の事實だが
ハリス夫人の女
公子公ハリス夫人
月十四日ハヨー州
ウィスター・カレッ
ヂから文藝士、學
位を離れたがこれ
はブローグ夫人の
人道上の重責を記念
したものである。ウ
ィスター・カレッヂ
行旅したのである
重慶の大統領夫人
中ブローグ夫人は人
類學、文藝、演劇は
異常な知識を有し
各處に感銘を印し
た女性ではない。
ブローグ夫人は五
十歳に達して、地獄
國に墮落して、地獄
グリーニズバッド
主たるのは先づ
その内情を收容
空病として君臨
歐洲大戦の當初
に、歐戰の事、

故田中王堂の

廣 干 香

[illegible]

若葉の扶餘行
(2)



朝鮮神宮（四月歌詠）

(七) 一「祖母花」

京娘 花田 无手
御手洗にゆくわむとすれば花は割れ
るかげの惜しもあるかな

問 荒見 次郎
御手洗の波に草をたへつゝ最良
の御草盛なり

手塚 道明
宵つくり神にさくる吾等の灯の
花よさらば花よさらば

仲 公
船のいさをたへつゝ櫻花公
なる國のみや

山田 早苗
仕りの跡きぬたる嵐へに雪と
も見え花たりし

岡本 正助
猶大もかれ出つへし櫻花は時
りに咲く國のみやへに

所 茂
國の宮屋に咲ける櫻花すめらみ
花のいさなり

牛島 重馬
山麓はひて句の露土のみあるの
庭にすてきなり

油田 貞八
朝もとの明け聞えける夢の
花のいさ盛なり

吉村鯉三郎
櫻花公のひかりお立てはみ手洗
川に影のふり

市 弘昭
千早流の離園なる御手洗に影へ
句ふ山根花

金剛山と佛徒

無學大師師
(九)

前田寛

て海難に遭へられた。元弘の亂京
師を止む事を、僧職を脱して、歸る
十二年、妙心寺に歸來して住し
習し、十二年秋、山崎金剛持に會
功け益を得た。十三年(金龜暴
亂三年)秋、再往して、壽永に入
り西大の指授を受けて禪修して起
て曰く

「千八百里親見親聞留目」
空しく
「善慶」僧役了
と。十四年正月、京寺に到つて

皇統元年(朝太皇太后の御代)證
し、大僧侶に列せられた。元弘
の亂に際して、親しく見守つた。
ある事、親しく見守つた。元弘
に上り、印證して大僧と號し、其唐を渡
り、元弘十四年、を以て生れた。年
十八にして世の志を懷き、翌

國師(松雪居士)の旨を、小僧に
傳へ、殊に京都、龍泉、の龍門山に
て法を講ずるに、問ふを疑はぬし

「オリンピック」
「愈よ近づく」

[illegible]

朝第七世祖王（自明、景泰七
後花園天 皇順正二年崇禎二二

[illegible]

發展を見て、
(中)

新木生

「假は又得て見せぬ人をゴチャ／＼描いてるし色もワック／＼光／＼見てるからいふやうな氣がした」

R「僕のやうに見てると思ふよんだらうよ、次の城角の風景野二氏作等だてさうだ。技巧は可成り好んでゐるが、色彩は何だか不安だ」

新「さうするときはやむを得ず山下一氏氏作等を多少可成らしくして

設立の議がある、京城に

さういふ全通渡江したといふのでないからその間立は一般から期待されてゐる。

◆ ◆ ◆

但し一部の文のみが占據するやうな點にやうやう充分注意するを要する。國語の出來ても有名な書寫では斯う輕に如かちがある。

淋疾治療に劃紀的發見

局所新薬
ブゾン銀
ケンゴール

全醫界が熱望せる深達性・イヒチオール合製銀の完成に
成功せる前東京吉原遊廓吉原病院長佐藤榮先生の榮譽

治淋界の革新時代

治淋劑と云へば直に内服藥を連想する程從來の淋疾治療は内服藥を重視し、且つ一般に稱用せられて居た。然るに精密なる細菌學的實驗の結果現在に於ては、從來期待してゐた効果は殆ど見出されず、只單に或る程度の利尿、疼痛、緩和及幾分の收斂作用を認むる外最も重大なる殺菌力、殆ど無いとの説は専門家の意見から、臨床醫家は均しく確認してゐる筈である。左記専門家の説は一例に過ぎないが、東京醫專教授上林豊明博士の所説に思案する所以でない、と論及せられてゐる。内服治療に行き詰つた現代醫學は注射方面に活路を求め、治療界は殆ど注射萬能時代が出現した觀があるが淋疾治療に對しては著しく期待に及ばし或一定の症狀の場合所謂攝護腺炎、副睾炎等併發症には効果を奏するも前部尿管炎の場合には殆ど顧れない現状である此の行詔つた狀態の下に諸種の療法が講じられた結果、九州帝國大學教授池澤博士の學說、同大學教授高木繁博士の著書にもある如く、「淋疾に對しては注射藥、並に内服藥等枚舉に過ぎない有様であるが、何れにしても今日の科學の程度に於ては、局所療法が最も奏效顯著であつて、それが到達し得ない合併症乃至菌の變化等には注射療法等も預つて効果があるものと考へるべきであらう」と云ふ點を強調してゐる。

淋疾治療の革命！プラオン銀の發見

一、本劑は前東京原田遊吉原田院長として、十數年在任せられた藤藥先生が多年の實驗と學理に基き、最も合理的に完成發見せられたる最新淋劑にして、多數專門家に依りて、臨床實驗せられたる結果、全く理論を裏切らざる最優秀の泌尿學博士等の所說に全然合致するもの發見し、之を要切に發表して同病組織を崩壊したるものなり。本劑の主成分「プラオン銀」は醫界に於て熱望しつゝあるも、製造に至るまで不能にして、唯一層完全なる理想的藥劑を合成したるものに依り、迅速、確實、深達作用等他藥の企圖し能はざるものなり。二、本劑は男女共局所患部の直接治療劑にして他の内服、洗滌、坐藥の迂遠なるに比し効果極めて迅速的確にして主成分の分子細微なめ組織組織、腺内等の最深部の組織に到達作用するものにして何等の副作用なく併發症の要なく最も安全に治療の目的を達し得るなり。三、本劑は殺菌力強烈にして、刺戟性微弱なるを以て、極めて濃厚に使用に供し得べく、爲めに〇.五乃至〇.五の極少量（即ち尿一尿に使用する程度）にて充分に作用して最も安全且痛無しに達し得るものにして一般洗滌藥等の如く、施尿に際して淋菌を後述の如く遂に侵入副睾炎、攝護腺炎、關節炎等の併發症の危険を、斷然に免れ得る點は、本劑の最も特長とする處にして、追從を許さざる處なり。

世界的賞讃！！

現病研究所に於ては例へば淋疾を期せずと醫界の權威を仰ぎ治淋界のため奮闘健康保持のためは如何なる貢獻せようとし、幸ひ幸ひ内地は勿論海外にても電報掛

[illegible]

平山隱江作

布施長壽



午後四いかなのやうに山詣り東京
講の歌を讀む。藤子の手を握つて
た。聞かぬと、藤子の聲は「だ
海國の要き、山詣の前になつた
「すまじせん」と山詣があつたを
さける。
「好いわ」と藤子は嬉しく答へて
「どんな御用」と聞いた。
「困つたな」
「このころダメ」
「うん」
「おやー」小首をひねりながら
「いつそ赤坂へ行くな」
井の頭で野練か、東村山の水邊
池か、神代池かといふ、町々々
々とした色の中へ、山詣の群衆
々が、知らず知らずに現れとい
ふふ時、藤子の心持をそこ
そこがした。

「郊外盛」と山詣はいった。
山詣、朝からの愛靜を、すつ

井の頭公園の森へ入つてからでも
非の頂公園の森へ入つてからでも
「随分逢はなかつた」
「さうね、けんよん」
「ありが、遠着か」
二人は相識。
二日の月夜過ぎに逢ふて、路
から、ツフと笑つて、
「人見だ、だよ」と藤子がいい
「他人にもがひないわ」
「だけども」
「今、何ててるの」
京屋 なれば **京屋**

「あそんでる、相識、す失禮に
「浅師のがら、つとも口を云
つて来ない」
「けは、からかうぢやないかね
上」
「はははは」

「菊の香た」
大の死んだのに驚いて、くそも
まいし露骨に何かに「菊の香」と
つた山路の裡きざつて、脚つたす
笑はした。此處も一落つたさ
さて何のめにも呼い出したが何
の爲にも叫び出されかけた、ど
ちからも出られずにたかつかつた。
二人の男に、斷一人、人影のない
霧の中に、夕陽がたんとく長く
なつてゆく。

京城名物(南大門通)
北京料理 福 誌樓

「菊の香た」
大の死んだのに驚いて、くそも
まいし露骨に何かに「菊の香」と
つた山路の裡きざつて、脚つたす
笑はした。此處も一落つたさ
さて何のめにも呼い出したが何
の爲にも叫び出されかけた、ど
ちからも出られずにたかつかつた。
二人の男に、斷一人、人影のない
霧の中に、夕陽がたんとく長く
なつてゆく。

「菊の香た」
大の死んだのに驚いて、くそも
まいし露骨に何かに「菊の香」と
つた山路の裡きざつて、脚つたす
笑はした。此處も一落つたさ
さて何のめにも呼い出したが何
の爲にも叫び出されかけた、ど
ちからも出られずにたかつかつた。
二人の男に、斷一人、人影のない
霧の中に、夕陽がたんとく長く
なつてゆく。

「菊の香た」
大の死んだのに驚いて、くそも
まいし露骨に何かに「菊の香」と
つた山路の裡きざつて、脚つたす
笑はした。此處も一落つたさ
さて何のめにも呼い出したが何
の爲にも叫び出されかけた、ど
ちからも出られずにたかつかつた。
二人の男に、斷一人、人影のない
霧の中に、夕陽がたんとく長く
なつてゆく。

「菊の香た」
大の死んだのに驚いて、くそも
まいし露骨に何かに「菊の香」と
つた山路の裡きざつて、脚つたす
笑はした。此處も一落つたさ
さて何のめにも呼い出したが何
の爲にも叫び出されかけた、ど
ちからも出られずにたかつかつた。
二人の男に、斷一人、人影のない
霧の中に、夕陽がたんとく長く
なつてゆく。

「菊の香た」
大の死んだのに驚いて、くそも
まいし露骨に何かに「菊の香」と
つた山路の裡きざつて、脚つたす
笑はした。此處も一落つたさ
さて何のめにも呼い出したが何
の爲にも叫び出されかけた、ど
ちからも出られずにたかつかつた。
二人の男に、斷一人、人影のない
霧の中に、夕陽がたんとく長く
なつてゆく。

「菊の香た」
大の死んだのに驚いて、くそも
まいし露骨に何かに「菊の香」と
つた山路の裡きざつて、脚つたす
笑はした。此處も一落つたさ
さて何のめにも呼い出したが何
の爲にも叫び出されかけた、ど
ちからも出られずにたかつかつた。
二人の男に、斷一人、人影のない
霧の中に、夕陽がたんとく長く
なつてゆく。

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

家の爲に
 置し
 術
 勤氏
 正徳氏
 佐助氏
 初はつの設せつ備びと
 周到しゅうたうな操さう作さくで
 精製せいせいされた理り想さう
 平家三ツ石で生々しんしんと磨をぎ上げた地肌へ
 サイワ白粉サイワハクコ、周縁しゅうえんに白粉ハクコと先に
 滑なめらかに白粉ハクコとに先づ
 並ならびに波紋はもんの儘ままに
 折をり、小指こさきのサイワ白粉サイワハクコで
 膝ひざの折をり、平へい地に拭ふき除はらつてから白粉ハクコを
 膝ひざを滑なめらかに平へい地に拭ふき除はらつてから白粉ハクコを
 膝ひざを下さげ、滑なめつて乾かわいた水刷すいしゅ筆ひしを用もちひ白粉ハクコ
 を滑なめらして周縁しゅうえんに、また足後あしごの仕上しじょうは桃
 を滑なめらして滑なめらかな仕上しじょうが一體いつたい感かんをさへ

せ
洗^ん
科^れ
;

ま 認^んは 重^{じゅう}で 化^{くわ}粧^{じょう}る 編




Fig. 15

かり腐れたやうになつて、いゝもの無郵船にとどつてる間に、腰沙すけどんく^(一)の影へ馳んだ。
「好いんだ、腰、切符を貰ふんだ」
あわてゝ車輪が揺りかへて来た時、もう目撃者有切符が一枚、腰沙すけの手にあつた。
一枚づつを各手裏持つて、何となく二人をよけるやうな通つた。二枚切符は既に口を通過した。
電車はやはり混んでゐるので、やつぱり二人はとなりに立つて、隣席ではなやうな振舞をしてゐる。朝川、中野、岡崎など男を過ぎると、窓にうつ鏡つ

又、昨日が合つて、しかも二人がもじくした。
「池の方へつて見な」と女云った。
「あん」
池の向ふは、鄙分さんもりと

西原殖産科医院
漢江通二丁目(四五五)
人重難れた齒科のおもかげで、ある。二人は足付、どうちかでもなかつて眠だ。
「好い寝得だな、せいくいちと云つた」
「お潔に」

映画・演藝

陸相の聲を トーカーに收め

動五等の米記者歸國

だが、その中には自派もあつた。これを日本米記者は習得することに努めてゐる。それを分けて良、ものと取り、悪いものを捨てようとしてゐる最中である。これだからければ日本の米相は心算に堪ぬ、晒か我々は遺憾存在だ。皇座の眞の面目を露呈し、我々米記者は天啓を得た。

[illegible][illegible]

面と肌膚と毛髪

「御進物
車曲はゆたか屋」
電話本町一丁目八番
電話本町二丁目八番

「お、吉野が着て来たぞ、早く出さ
せしむでござって、露見出来とす
ぐに二、三、館前にあるんだ
「すつかり置になつたわけだ
「御進物を切つて、露見が形勢
をゆるめるから扉を開けたけり」

「わい、うちの空堀にめめてやつた
上へ、ゆるた、女が着るが少し
した、ゆるた、飯をしろよな
「うしろ」と、山崎がいう。
「誰か？」
「越ちやん」
「指懸れずさ。」
「トミイ！」
「オートバイに轢かれて死んぢや
つたの。」
「死んだー」
「わい、うちの空堀にめめてやつた
わい」

でも質問すると、その底にないで約二十分に亘る重要新聞の日本とオーストリアの聲に導きし」と並列にオーストリア出来たと、これはよくもで得て行つた、聞かすの間答に上程してゐる。

問：今日此は騒動が不安あるといれてゐますがその原因は何ですか。

答：「日本との六十年の間、日本の思想を大膽で取入れ、

問：この騒動に際する日英陸軍の差は何ですか。

答：「陸軍は露國の義勇兵を重要國に取つて取つてゐるが、露國に於ける治安の維持と安上は日本に於ける總統に安全である。又日本の道義的義兵、これらに於ける差は、露兵は

△七六歩 △三四歩 △六六歩 ▲四四歩
△四八歩 ▲四二鐵 △六八玉 ▲五四歩
△五六歩 ▲六三玉 △近八金右 △七三玉
△四四歩 圖四下の手指す
△九四歩 △九六歩 △八三五 △一六歩
▲一四歩
▲後右四四玉と角筋を止まらねに五二飛と後手
歩は急ぐ。但し出てくるには中法で進めるべきところであらう。後手
は急ぐ。但し七二飛と王冠を渡さぬ。

[illegible]

は作用が緩和で 肌膚を荒す、
加之中途で潰崩れず 三倍の
品質この廉價 眞に奇

ことなく
日保ちます
家庭必需品

○三ツ石人無

純良で經濟

○ミツワ石工

は作用が緩和で 肌膚を荒すことなし
加之 中途で溶崩れず 三倍も保ちま

この品質この廉價
眞に家庭必需品

1. The first part of the paper is devoted to the study of the asymptotic behavior of the solutions of the system (1) as $t \rightarrow \infty$. It is shown that the solutions of the system (1) are bounded and tend to zero as $t \rightarrow \infty$ if the matrix A is stable. The second part of the paper is devoted to the study of the asymptotic behavior of the solutions of the system (1) as $t \rightarrow \infty$ if the matrix A is not stable. It is shown that the solutions of the system (1) are unbounded and tend to infinity as $t \rightarrow \infty$ if the matrix A is not stable.

本館東京丸見區

37.1